

事業群評価調査 (平成29年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	文化観光国際部文化振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	本多 敏博
事業群名	① 文化・芸術による地域づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)	
子どもから大人まで、県内どこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供に取り組むとともに、若者文化を核としたまちづくりにも取り組んでいきます。						i) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な文化芸術に触れられる機会の提供	
						ii) 若者文化を核としたまちづくり	
						iii) 若い芸術家の支援と発表の場の提供	
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析)	
事業群	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)	21市町	5市町	9市町	180%	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において、離島地区や遠隔地を中心に実施している移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を9市町・計12回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催することにより、多くの県民に文化芸術を学び楽しんでいただく機会を提供することができた。 今後も、遠隔地を中心としながらも、県内全ての地域において文化芸術に触れる機会を提供することができるよう、計画的な事業の実施を図る。	
関連指標 その他							

2. 28年度取組実績 (H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—		
取組項目 i	総合芸術祭費 文化振興課	S45-	7,812	0	1,609	県展 実行委員会	長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県下各地で開催した。	活動指標	展覧会の回数(回)	6	6	100%	・目標には達しなかったが、県民の芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動を普及促進することにより、本県の文化芸術の振興が図られた。	○
			8,292	0	1,615			成果指標	県展の観覧者数(人)	17,000	15,746	92%		
	文化団体助成費 文化振興課	S53-	13,715	0	4,021	長崎県文化 団体協議会	県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行った。	活動指標	主催事業(自主事業)実施件数(件)	10	11	110%		
			13,715	0	4,037			成果指標	主催事業(自主事業)参加者数(人)	15,877	14,297	90%		
	長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館 運営事業(移動展等) 文化振興課	H17-32	3,611	254	805	県民	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館の移動展覧会やテレビ会議システムを活用した遠隔授業、出張授業、ワークショップ事業等を県内各地で開催し、優れた芸術・文化に触れる機会を提供した。	活動指標	—	—	—	—	・離島地区や遠隔地を中心に移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を9市町・計12回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催し、多くの県民に文化芸術を学び楽しんでいただく機会を提供することができた。	
			4,734	642	808					—	—	—		
								成果指標	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)(市町)	5	9	180%		
										4	—	—		

取組項目 ii	「描いてみんな！長崎」事業	H28-30	2,153	—	2,413	出版社・作家	首都圏の出版社を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込むことにより、出版社と作家を本県への取材旅行に招聘し、マンガの作品化を実現した。	活動指標	創作を支援した出版関係者・作家数（人）	3	6	200%	本県の豊かな地域資源をマンガ作品に活用してもらうことによって、本県の魅力を発信することができた。また、事業を実施する中で出版社との信頼関係を構築することができた。	○
			文化振興課	1,939	2,183			2,423	成果指標	長崎県を舞台にした作品数（本）	3	—		
	0								5	皆増				
	2								—	—				
取組項目 iii	地域発「ながさき文化のちから」創生事業（地域の人材育成事業）	H27-29	14,811	0	8,042	地域実行委員会	地域実行委員会等が、各地域の独自性・自主性を活かして行う、県内の若い芸術家の育成等に繋がる文化芸術活動を支援し、地域主体で地域の特長を活かした文化芸術の企画をマネジメントできる体制づくりと人材の育成を図った。	活動指標	イベントの実施回数（回）	5	7	140%	優秀なアーティストと地域をつなげることにより、文化芸術の人材育成や優れた演奏会などの機会提供が図られた。	○
			文化振興課	19,305	0			8,074	成果指標	イベントの満足度（アンケート調査）（%）	6	—		
	75								92	122%				
	80								—	—				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i)	優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展入賞作品と地元作家の入選作品を展示する県展移動展や長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。 ・県展については、H28年度は、県展への親近感を醸成する「オークション事業」や、将来性のある有望な人材を対象とした「芸術人材育成事業」、協賛企業を増やすため会場内に協賛会員等PRコーナーを設置する「協賛会員PR事業」、協賛企業の増加、県展への親近感を醸成するための「入賞・入選作品貸出事業」など、展示事業以外にも出品点数を増加するための様々な事業に取り組んだが、出品点数は▲4%、観覧者数は▲7%の減となった。今後も県展の観覧者数を維持するため、引き続き、出品点数の増加など県展の活性化を図る必要がある。 ・長崎県文化団体協議会については、芸術文化活動の活性化の参考としてもらうため、加盟団体の優良事例に関する冊子を作成し、配布した。29年度は、6/18総会後に初めて交流会を開催し、加盟団体の活動報告と意見交換を行うとともに、自主事業である新人演奏会の出張公演等を実施した。引き続き、加盟団体の活動を活性化させるための取組が必要である。
ii)	人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、若者が主体的に活躍できる新たな地域ネットワークづくりを推進することが重要である。28年度は、「描いてみんな！長崎」事業では、出版社や作家を本県への取材旅行に6回招待し、本県を舞台としたマンガ創作の支援を行ったことにより、5件の作品化が実現した。今後も引き続き、本県をテーマとしたマンガ等の作品化を推進することにより、本県の魅力発信に努める。
iii)	地域発「ながさき文化のちから」創生事業の取組の中で、東京藝術大学の講師陣と五島市の中高生、地域住民を結びつけた音楽セミナーや、全国的に著名な講師陣を招聘し雲仙市の地域資源である小浜中学校吹奏楽部を中心に県内外の中高生を対象とした雲仙マーチングクリニックを開催するとともに、受講の成果を発表するコンサートを開催することにより、若い芸術家の受講機会と発表の場を提供した。佐世保市では、若者文化に着目したイベントとして「佐世保ダンスフェスティバル2016」を開催し、県内外から多くの若者が参加した。 ・本事業は、「ながさき音楽祭」の後継事業として、優れた文化芸術に触れる機会の少ない離島半島地域の人材育成や若者文化に着目した新たな事業の創造などに重点化したものであるが、県主催事業としての県民の認知度は未だ高くない。また、文化芸術イベントとしての大きな打ち出しができなかったことから、主要財源であった民間協賛金が無くなり、県単独予算のみとなっている。今後は、広く情報発信に努めるとともに、地域の自立を促すため財源の多様化を図る必要がある。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがなければ「―」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	総合芸術祭費	29年度は、高校生の参加を促すなどにより出品点数の増加に努める。	②⑥	30年度以降も、県展実行委員会と連携のもと出品点数を確保し、良質な芸術に触れられる貴重な機会提供を継続しながら、観覧者数を維持していく。	現状維持
	文化団体助成費	29年度は、長崎県文化団体協議会の交流会の実施や、新人演奏会の出張公演等を充実することにより、文化団体の活性化を図るとともに、良質な芸術・文化に触れられる機会を提供する。	②⑥	30年度は、地域文化章の推薦団体に長崎県文化団体協議会加盟団体を追加し、文化団体の顕彰に關与する機会を増やし、同章の祝賀会と交流会を兼ねることにより、活動の更なる活性化を図る。	改善
	長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館運営事業 (移動展等)	—	②③	30年度も、引き続き未実施市町の学校や団体等と調整を行い、移動展覧会等の実施に努めていく。	現状維持
取組項目 ii	「描いてみんな！長崎」事業	29年度は、作家等の招聘を継続し、ノウハウの蓄積と出版社との更なる関係強化に努める。	②⑥	30年度も、引き続き同様の手法を継続し、作品化の実績を積み重ねることにより、ノウハウの蓄積と出版社との関係強化に努めていく。	現状維持
取組項目 iii	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (地域の人材育成事業)	29年度は、県内各地でセミナー、ワークショップなどを実施し、若い芸術人材の育成を図るとともに、講師陣と地域が協力した質の高い演奏会やダンスイベントなどを開催する。また、有人国境離島地域においては、文化合宿補助金を創設し、地域外から人を呼び込むことにより、交流人口の拡大を図る。	②⑤⑥	29年度までに各地に地域実行委員会が設立され、地域主体で地域の特長を活かした芸術文化の企画をマネジメントできる体制ができたことから、一旦事業を終了する。30年度は、より高水準の文化芸術事業を継続できる体制の強化と人材育成を図るため、総合芸術祭としての一体的な打ち出しや一流アーティストの招聘、国制度や協賛金の活用などを検討するとともに、文化合宿補助金により更なる交流人口の拡大を図る。	終了